

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第40号

2006年9月

# やどりき水源林ニュース

発行 (社)かながわ森林づくり公社県民運動課

編集 かながわ森林インストラクターの会

〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2

☎0465-85-1900

URL: [http://www.ny.airnet.ne.jp/k\\_sinrin](http://www.ny.airnet.ne.jp/k_sinrin)

## やどりき水源林 定例観察会のお知らせ

毎日曜日午後1時より1~2時間の水源林をご案内する観察会をかながわ森林インストラクターの会【森の案内人】で行っております。参加希望の方は1時までに水源林ゲート前にご集合ください。費用負担等はございません。

## 夏・生き物たちの水源林



ヤマアカガエル (管理棟脇の小沢)

今年の夏はいつまでも鬱陶しい梅雨が続いたせい、短い夏に森の生き物たちは相手を求めて、子孫を残すのに一生懸命です。

やどりき水源林では、セミ、コオロギ、キリギリス、カエル、チョウなどがメスを求めて鳴き、飛び回っています。

9月号は人々に豊かな実りをもたらすきれいな水の中や、豊かな土の中に住む生き物たちの特集です。

またこれらの水生、土壌生物は自然度をあらわす指標生物となっています。



ヒラタカゲロウの幼虫 (審沢)

やどりき水源林では「かながわ森林インストラクター」が毎年、水と土の生き物を観察しています。水と土の生物観察をご希望のグループは、冒頭のかながわ森林づくり公社ご連絡ください。



水生生物標本 (審沢)

水源林の水・土にどんな生き物がいるか、かながわ森林インストラクターの会・普及啓発部会と水性土壌生物調査班で標本づくりに挑戦しました。右からカジカ、サワガニ、ヒゲナガトビゲラ



ヘビトンボの幼虫 (寄沢)



カジカガエル (寄沢)



カジカ (寄沢)

・8月の水生生物観察ではきれいな水(水質階級I)に棲むカワゲラ、ヘビトンボ、ヒラタカゲロウ、ヤマトトビゲラの幼虫、サワガニ、カジカガエルなど子供たちと一緒にって見つけました。

・一見何も生き物がいない澄んだ寄沢の流れに、昆虫の幼虫を、カエル類を見つける。水というと何で皆元気になるのでしょうか。

・豊かな土ができるのに最低100年かかる!

・土の原料は木の葉、生き物の死体、生産者はきのこなどの微生物、森の掃除屋さんの土壌生物! 子供の22cmの足の下には土壌動物1,600,000匹居る。

・ミミズなどが創る豊かな土壌の空隙率は約8割!

・おいしい水はこの土が創るのですね。



ツツトビゲラの幼虫 (寄沢)



土壌生物 (ミミズ、ムカデ、ダンゴムシ等) (寄沢)

・10月7日(土) 水源林フェスティバル(やどりき水源林の集い)が開かれます、奮ってご参加ください!

今月のトピックス

- ・カジカカエルが寄沢、ヤマアカガエルが管理棟横の小沢、アズマヒキガエルが後沢に顔を見せています。
- ・アカメガシワの実がなり、タマアジサイ(右の写真)、コボタンヅル、クサギ、鹿の嫌いなミカン科のマツカゼソウが満開です。



来月の見所

- ・秋は樹木にとって、大事な子孫残しのための木の実ができ、必死に実を広く運ぼうと必死です。
- ・サルナシ、ガマズミなど人が食べられる実。
- ・クサギ、ミヤマシキミ、ヤブムラサキ、ヤマブドウの実。